

中原消防団 広報誌

第 15 号
発行平成 25 年 2 月
題字中 田 隆 氏

翔太



平成 25 年中原地区消防出初式開催 高めよう地域の絆と防災意識

平成 25 年 1 月 6 日(日)・等々力緑地催し物広場で開催され、少年消防クラブ・消防部隊の分列行進や一斉放水などが行われたほか、平間幼稚園幼年消防クラブ、住吉高校チアリーディング部の演技が披露された。

年頭にあたり

中原消防団長

田中 実

平成 25 年の初春を中原区民の皆様方には、健やかに迎えのすることとお慶び申し上げます。

ですが、同時に防火・防災等の都市基盤が十分に整備されることが望まれます。本年は、東日本大震災が発生してから 2 年目を迎えます。被害の少なかつた私達の町では少し防災に対する気持ちが薄らいで来ているような気がいたします。被災地では、まだまだ復興に手が届かず厳しい避難生活等を強いられております。昨今行政等では、災害に



演技後、記念品を贈る小林署長(左)と田中団長(右)

強い町づくりを進めなければと言われておりますが、消防団にとつて災害から区民を守ると言う着実な方向に進んでいるのかと少し疑問に思うことが有ります。近年通常災害に対しては常備消防が川崎市では十分整備され、私達消防団は後方支援が主となつてきています。災害から被災を想定したとき、消防団と地域住民が共同で身近で使える資材が整備される必要があると思ひます。進化し続ける中原を守るため、中原消防団としても更に訓練を重ね地域の皆様と協力し防災力の強化に努めてゆきたいと考えております。そして 3・11 の体験を忘れないよう本年も「東日本大震災を振り返つて」と研修会の開催を予定してあります。

今年も災害の無い明るく住みよい町中原でありますよう願うと共に、消防団一一致協力し防火・防災に努めてまいります。引き続き皆様には、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

また、住民の安全・安心の基礎となるものは、火災や災害のない街です。これを実現するには、住民の防火・防災の知識・意識を高めていくことに尽きます。そして、知識・意識が備わつたならば、次は実際の行動に表していただくように指導を強化することが重要な課題となります。この行動のきっかけを作るのが、現在、中学生に行っている D I G 訓練を、町内会、自治会にも拡大して実施し、住民にインセンティブ(誘導、動機付け)を与えていくことに加え、それを指導し補完することと考えています。そして、その推進役が地元根づいている消防団員の皆さんではないでしょうか。近年、消防団の役割は益々大きくなり、そして住民から期待されているところです。

新春のご挨拶

中原消防署長
小林 英木

平成 25 年の輝かしい新春を迎え中原消防団の皆様にお祝いと感謝を申し上げますとともに、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年の中原区における災害を顧みますと、一昨年に比べ火災件数が減少しているものの人的、物的な被害が増加しています。この原因として、昨年は建物火災が 27 件発生し、そのうちの 4 件で大規模な炎上火災となったことが、人的、物的被害を拡大したものです。このことから、住宅用火災警報器の設置促進や防火キャンペーンの広報活動など、ハードとソフトの両面から予防対策の推進が重要な課題となっております。

一方、消防団の活動を顧みますと、火災活動や台風警備に加えゲリラ豪雨や竜巻対策などへの活動範囲の拡大と気象情報による迅速な警備体制の構築などが新たな課題となっております。このような中、昨年 M C A 無線の本部及び器具置場への配備に加え、全団員へのトランシーバーの貸与など、情報通信機材の整備が図られたところです。この無線通信機材の効果的な運用方法を構築し、より充実した団活動の礎を築き、ゲリラ豪雨や竜巻対策などへ適切に対処していかねばなりません。

また、住民の安全・安心の基礎となるものは、火災や災害のない街です。これを実現するには、住民の防火・防災の知識・意識を高めていくことに尽きます。そして、知識・意識が備わつたならば、次は実際の行動に表していただくように指導を強化することが重要な課題となります。この行動のきっかけを作るのが、現在、中学生に行っている D I G 訓練を、町内会、自治会にも拡大して実施し、住民にインセンティブ(誘導、動機付け)を与えていくことに加え、それを指導し補完することと考えています。そして、その推進役が地元根づいている消防団員の皆さんではないでしょうか。近年、消防団の役割は益々大きくなり、そして住民から期待されているところです。



最後の決めポーズ「ファイヤー！」



製作者の第8代団長・中田 隆 様

出初式・千支の引継ぎで 踊る消防団員

中原地区消防出初式での名物といえは千支の被り物をした団員の行進や引継ぎ式です。この被り物を昭和59年より手作りで製作して下さっているのが第8代団長・中田隆様です。中田様が年男の今回は、全長8mを超える大作を作って頂きました。

団員も今までのご恩に報いようと盛り上がる企画を検討し、踊る事を決意しました。

曲は東日本大震災復興支援のエグザイル「ライジング・サン」として振付が決まり、企画がメンバーに伝わったのは出初式の10日前でした。大晦日の器具置場で、そして地域の方のご理解により市ノ坪神社の会館で練習をしました。団員の楽しく頑張る姿は感動的でした。

迎えた当日、来賓や地域の方々に明るく元気で和気あいあいとした消防団を披露することが出来たかなと思います。

「いつか中原消防団全員で披露できたら最高です。」とダンス・リーダーの住吉分団・安齋部長。



末ながくお幸せに

おめでとう！大橋貞幸団員と久美子団員

中原分団・宮内班の大橋貞幸団員と久美子団員が結婚しました。

中原消防団、初の団員同士結婚で中原分団の独身団員、班長、分団長も今後女性団員が入団すれば次は自分ももしかしたらと思いつながら今後の分団活動の良い励みになっていきます。さて話は

消防豆知識

破裂事故防止と安全対策のために

消火器を適切に管理しましょう

消火器は不具合等で使用できないことがあります。特に、腐食等があると、腐食部分から破裂して事故になる恐れがあります。日常的に点検を行い適切な管理を心掛けましょう。

消火器の不具合例



消火器の点検箇所

- 本体に変形、損傷、錆びまたは塗色の剥離がないか
- ホースやキャップに損傷やひび割れはないか、結合部に緩みはないか
- ラベルに表示されている耐用年数は過ぎていないか
- ゲージ付きのものは指示圧力計の針が緑の範囲内にあるか

消火器のリサイクルシステム3つの注意点

- 1 リサイクルシステムの運用開始**
古い消火器を安全に回収・廃棄するため、メーカーごとに異なっていたリサイクルシステムを統一し、他のメーカーが製造した消火器でも回収可能となりました。
- 2 消火器の廃棄**
平成22年以降に製造された消火器は、リサイクルシールが貼られて販売されています。リサイクルシールを貼られていない既存の消火器は、シールを購入し貼付してから回収窓口へ引き渡します。
- 3 放置しないでリサイクル**
放置した古い消火器に小学生が触れて、破裂し、ケガをしたという例が多くあります。



消火器の悪質販売に注意!!

悪質な訪問販売や押し売りにお気を付けてください。

「消防署の方から来た」

「一般家庭にも設置義務がある」

などと言い、訪問販売を行う業者が現れています。不審に思われたときは、はっきりと断りましょう。



叙勲



元・中原消防団消防部長の石川三吉様が秋の叙勲において瑞宝单光章の榮に浴されました。誠にありがとうございます。

編集後記

中原消防団広報誌「翔太」第15号をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

発行責任者	田中 実
編集	中原消防団広報部
広報部長	田邊 晴輝
中原分団	坂西 利秋
大戸分団	峯岸 雅宏
住吉分団	猪股 昌美
鹿島	秀樹
横山	芳春
田口	眞弓
若島	稔
(写真撮影)	
野口	芳正
畑	昭仁
山本	喜道